
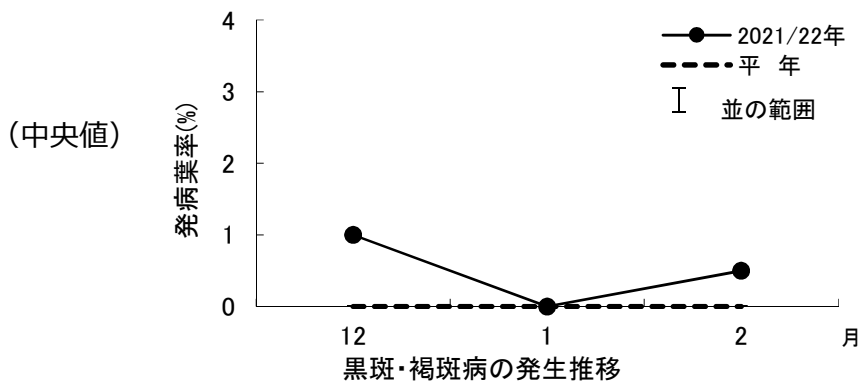
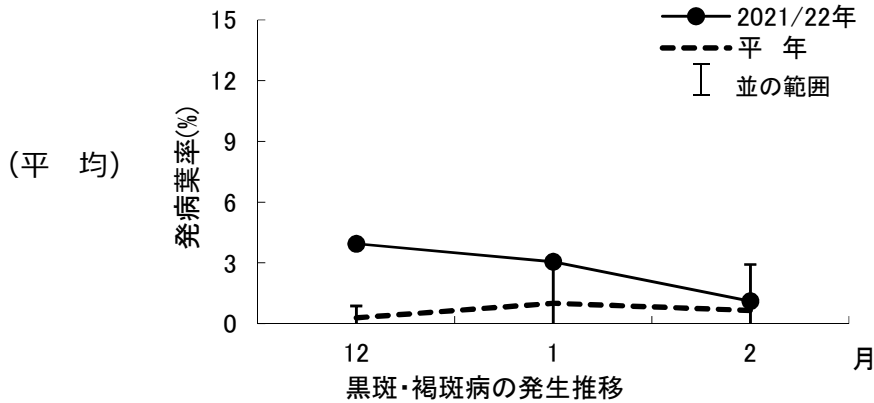


作物	小ギク（彼岸出荷用）	地域	沖縄群島
病害虫名	黒斑・褐斑病		
調査結果	2 月の発生量（平年比）	並	
予報	2 月からの増減傾向	—	
	3 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果



・発生ほ場率：88.9%（平年値：8.8%）

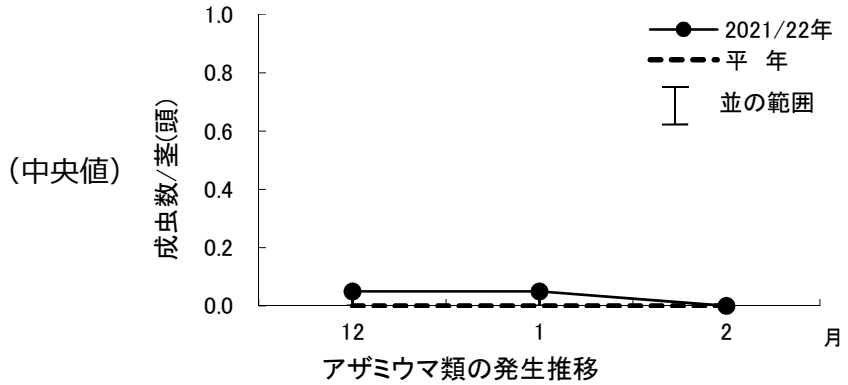
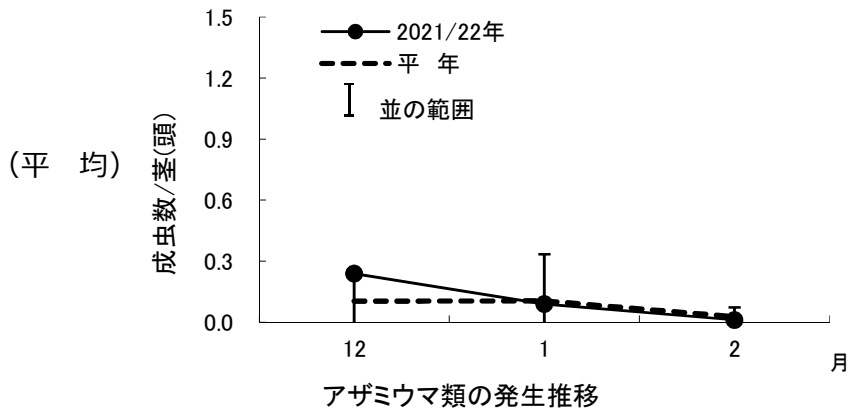
防除のポイント

- ・発病葉は速やかに除去する。
- ・肥料切れや窒素質肥料の過用は発生が多いため、施肥管理を適正に行う。
- ・ほ場の排水・通風を良くする。
- ・水滴の跳ね上がりを防止するため、敷草を行う。

作物	小ギク（彼岸出荷用）	地域	沖縄群島
病害虫名	アザミウマ類		
調査結果	2 月の発生量（平年比）	並	
予報	2 月からの増減傾向	—	
	3 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			




調査結果



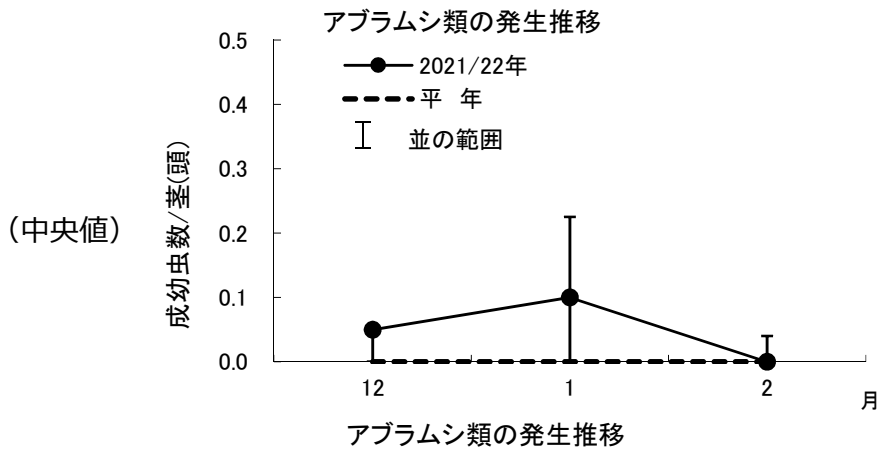
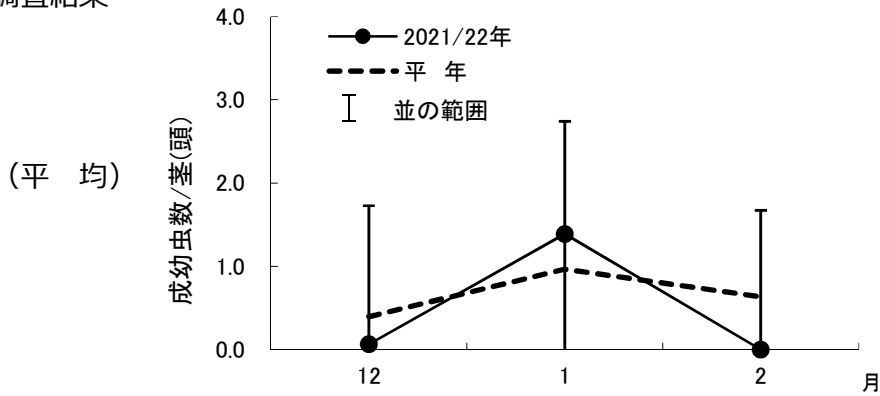
・発生ほ場率：11.1%（平年値：20.4%）

防除のポイント

- ・成虫は新葉や上位葉に、幼虫は上～中位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・同一ほ場内にあるキクは、異なる品種、異なる生長段階であっても、同時に防除を行う。
- ・地際部から新しく出てきた脇芽は、アザミウマが増殖しやすいので、早めに除去する。

作物	小ギク（彼岸出荷用）	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	2 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	2 月からの増減傾向	—	
		3 月の発生量（平年比）	—
予報の根拠			

調査結果



- ・発生ほ場率：0.0%（平年値：30.1%）
- ・防除員報告：北部地域（多発生）

防除のポイント


- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。



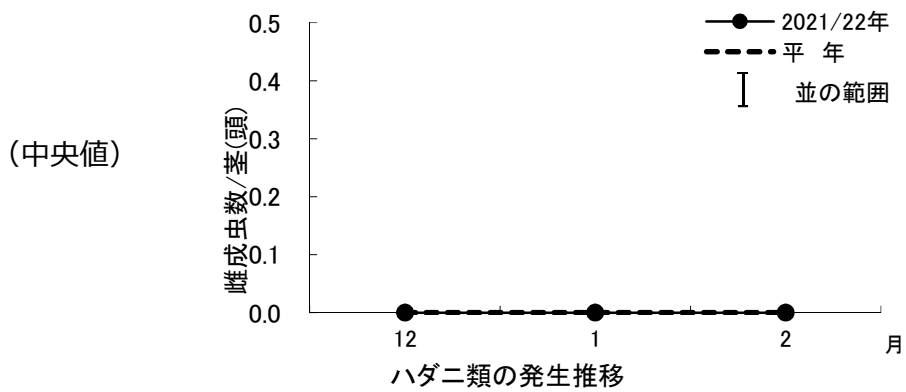
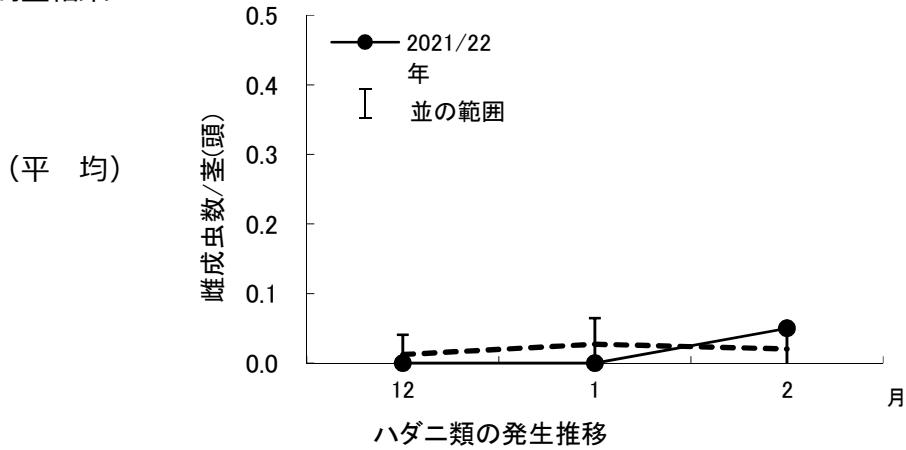
被害の様子



有翅虫

作物	小ギク（彼岸出荷用）	地域	沖縄群島
病害虫名	ハダニ類		
調査結果	2 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	2 月からの増減傾向	—	
	3 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果



・発生ほ場率：22.2%（平年値：16.3%）

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・葉裏に多いことに留意しながら、丁寧に薬剤散布する。